

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	フェルギー厚木建設工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県海老名市新田二丁目49番2の1の一部及び5145番1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	105 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2016年4月12日
敷地面積	1,854 m ²	作成者	大成ユーレック(株)
建築面積	749 m ²	確認日	—
延床面積	2,968 m ²	確認者	—



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合	街並みから突出する事の無いように努め、周囲への圧迫感を和らげるような建築計画とした。	—
Q1 室内環境	断熱等性能等級を等級4とし、熱負荷低減に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LED照明の採用により、エネルギーの削減を図った。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を80%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い設備配管の採用により、建物の長寿命化を図っている。	
LR2 資源・マテリアル	ノンフロン(A種)断熱材の採用により、フロン材の使用回避に努めている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される